

会議録

1 附属会議の名称

令和6年度第2回犬山市子ども・子育て会議

2 開催日時

令和6年11月21日（木）午後2時00分～3時45分まで

3 開催場所

市役所2階 205会議室

4 出席した者の氏名

- (1) 委員 関谷みのぶ、橋村晴美、浅岡正視、森資子、長谷川朋子、暮石綾子、猪野伸子、中西芙美香、布目訓久、新井里恵、榊原吉峰、永濱奈穂、澤田禅、木村和美、大澤秀教、沼靖子
- (2) 執行機関 小幡子ども・子育て監、高木健康福祉部長
（子ども未来課）上原課長、伊藤主幹
（健康推進課）野村統括主査
（子育て支援課）大澤課長補佐、小林主査
（Next-i 株式会社）佐野

5 議題

- (1) 議題1 （仮称）第1期犬山市こども計画について
- (2) 報告1 橋五子ども未来園、（仮称）新羽黒子ども未来園整備の進捗について
- (3) 報告2 屋内型キッズスペース整備の進捗について
- (4) その他事項 事前に質問、意見のあった内容について

6 傍聴人の数

1人

7 内容

【事務局】

定刻より少し早いですが、只今より犬山市子ども・子育て会議を開催させていただきます。

進行は健康福祉部子育て支援課長の青山が務めさせていただきます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

本日、委員の皆さまにおかれましては、公私ともお忙しい中、この会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

また、前回の会議におきましては、資料配布が当日配布となってしまう、委員の皆様にご迷惑おかけしましたことこの場をかりまして謝罪申し上げます。本当に申し訳ございませんでした。

それでは、会議の開催に先立ちまして、子ども子育て監の小幡よりご挨拶を申し上げます。

【事務局】

皆さん、こんにちは。日頃は犬山市のこども子育てに関しまして、ご理解とご協力いただきましてありがとうございます。

そして本日はお忙しい中、第2回子ども・子育て会議にご出席いただきましてありがとうございます。

今日の本日の会議ですけれども、皆さんに色々配布させていただいた仮称第1期犬山市こども計画につきまして、皆様、委員の皆様からご意見をいただく会議となっております。

前回アンケート結果を皆様にご報告させていただきましたけれども、そのアンケート内容を踏まえまして、子育て支援課の方で計画案を立てております。

本日は皆様から忌憚のない意見をいただき、こども計画に反映させるとともに、市政にも反映させていきたいと考えております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

【事務局】

では、続きまして、関谷会長からご挨拶を申し上げます。

【関谷会長】

関谷と申します。前回、第1回の会議では、皆様からの十分なお意見を賜うことができず大変申し訳ございませんでした。今回、事前に資料の配布等が行われまして、皆様にも十分に目を通す時間があつたのではないかと考えております。今日は、ぜひ忌憚ない意見をこれから犬山で育つ子どもたち、今いる子どもたちも含めて、健やかに成長できるような意見交換ができるといいなと考えております。

昨日、11月20日は世界子どもの日として、子どもの権利条約とかが制定された日です。条約が採択された1989年11月20日なんですけれども、それからこどもを大事にする日、色々なこどもの権利というのも考える日となっております。私たちも、その思いを馳せながら今日しっかりと議論ができればいいなと考えております。何卒よろしくお願いいたします。

【事務局】

ありがとうございます。それでは、議題に入らせていただく前に本日配布しました資料の確認をさせていただきます。

本日の資料といたしましては、まず1つ目、次第。そして配席表、事前に配布させていただいてるかと思いますが、第1期こども計画の素案、この素案の付属資料、資

料2の1としまして、橋・五つうしんというA4のカラーの両面刷りのものが1部、そして最後に、資料2の2としまして、新羽黒保育園整備事業。こちらもA4カラー刷りのもの。

資料は以上となりますけれども、不足等ございましたらお申し付けお願いいたします。大丈夫でしょうか。

では、本日の会議ですが、開催時間をおおむね1時間半、15時半頃には終了したいと考えております。会議の進行につきまして皆様方のご協力をお願いいたします。

さて、本日の会議につきましては、委員20名中、16名の方に出席をいただいております。

過半数に達しておりますので、会議が成立していることを報告いたします。

それでは、以降の議事進行につきましては、関谷会長にお願いすることになります。関谷会長、どうぞよろしくお願いいたします。

【関谷会長】

はい、それでは、よろしくお願いいたします。

早速ですけれども、次第に従いまして進めていきます。次第2つ目、協議事項のところですが、議題1、仮称第1期犬山市こども計画について。事務局より説明をよろしくお願いいたします。

【資料に基づき、事務局説明】

【事務局】

皆様に事前に計画素案に対してのご意見はないでしょうかということで、照会をさせていただきました。

その結果2点ご意見をいただきましたので、そのご紹介、回答をさせていただきたいと思います。

まず1点目です。少子化対策これを本格的に行う必要があるのではないかというご意見です。現状としましては、この計画書には今回紹介をいたしました多子・多胎児への支援、こちらがこの少子化対策に関する事業となっています。この事業は、経済的な負担の軽減、これを通じて第3子以降の出産を諦めずに済むように支援するといったものとなっております。また、記載内容に列挙はしてありませんでしたが、新築、リフォーム、こういったことを行う際の補助事業が元々ありますが、この多子・多胎児世帯に該当する場合は、さらにこの補助額に20万円を上乗せして行うといったメニューもこの多子・多胎児の支援の中に含まれております。こういった取り組み自体は行っており、進めてまいります。では事業の効果としてどのように今すでに現れているのか、次の手をどのように考えていくのかという部分につきましては、引き続き検討が必要だと考えております。

そのように取り組んでまいります。ご意見ありがとうございます。

続きまして、2点目、教育分野の話となります。

ライフステージ学習ということについては、市としてどのように取り組んでいますかというご意見です。

こちら確認させていただきますと、ライフステージ学習とは、生涯にわたって 例えば就職、結婚、出産、また老後などですね、人生の選択をおこなうにあたって必要な知識、これを授業などで伝えてですね、本人が後悔しないよう、責任を持って選択できるよう教育する。このようなことを指しているようです。こちらにつきましては、その市の取り組み状況ということで担当課であります学校教育課に確認をいたしました。現状としましては、キャリア教育という点ではおこなっております。また、その中では、職場体験であるとか将来の進路選択、希望する職種に就くためにはどの学校を目指すかといった内容、こういったものについては取り組んでいるということでした。こちらにつきましても、今回の計画への記載が困難であっても、中間見直しなどの機会も今後ありますので、どのような方向性となるのか、担当課へ引き続き確認をしてまいります。

ご意見ありがとうございます。

以上、資料1、付属資料を使った説明と、事前にいただいていたご意見についてのご回答とさせていただきます。

【関谷会長】

はい、ありがとうございます。あらかじめいただいていたご意見も合わせて紹介いただきました。ご意見をお寄せいただきました皆様、どうもありがとうございます。

その他、なかなかボリュームがありますので、色々と事前の意見のところでも、どう聞けばいいかなとか、どのようにお伝えすればいいかなと少し躊躇されたこともあったかと思しますので、ぜひこの機会に今上がりました2つ以外に何かございましたら、ご意見いただければと思います。いかがでしょうか。

大澤委員、お願いします。

【大澤委員】

ご説明ありがとうございます。事前にいただいた資料を完全詳細に読み込むとこまではできませんでしたけれども、何点か質問をさせていただきたいと思います。

今回、あくまでも計画を作るということですので、どこまで具体的な記述をどうしていくというところは、そこまでの段階ではないということでしたら、そのようにお答えいただきたいと思います。

事前にいただいた資料の基本目標3の51ページの具体的な取り組みの羽黒子育て支援センターの整備で新たに開園を予定している「仮 新羽黒保育園に併設する形で、地域子育て支援拠点羽黒子育て支援センターの整備を計画します」とあります。令和8年度からの供用を予定します。ということではありますが、この新保育園については、民間のノウハウと言いますか、民設民営で実施すると承知していますが、この子育て支援センターについては、そういった民間のノウハウを入れられるということなのか、そういうことを記述していくのかについてお尋ねしたいと思います。

【関谷会長】

ありがとうございます。事務局、ご回答いただけますでしょうか。

【事務局】

今のご質問、羽黒子育て支援センターですが、一応民設民営でやる予定ではありますが、まず考えているのは現状の支援センターと同じようなまず取り組みをしてくださいと話をしています。その上で、民でしかできないことがあれば、やられることは全然大丈夫ですし、そういったこともやっていただければと願っております。細かいことまでまだ現状で決まってないというのは現状です。まずは市のやっている子育て支援センターと同じように、同じ内容でやっていただくことだと考えております。

【大澤委員】

そこまでは計画の中には記述をしていかないということですね。

【事務局】

詳細まだ業者と打ち合わせてるわけではありませんし、決定はしてないということです。

【関谷会長】

はい、続けてどうぞ。

【大澤委員】

はい。では、57 ページですけども、教育保育の質の向上という項目の現状と課題、青文字のところは質問しては駄目でしょうか。第三者評価の導入に向けて取り組んでいきますというふうに最後結んでいらっしゃるんですが、これは具体的にどういうようにやっていこうというお考えがあるのか。これについて記述をしていく方向があるのかについてお尋ねします。

【事務局】

申し訳ございません。こちらにつきましては、第2期の計画の内容をそのまま移してあるみたいでして。申し訳ございません。まだ精査ができておりません。

【大澤委員】

あまり細かいことを言ってもですので感想、意見で締めたいと思います。今の説明の中でも基本目標だとか基本施策だとか、同じような言葉がたくさん記述の中にもあり、まだこれからコンサルさんに出して読みやすいように整理はすると思いますが、資料として大変見にくいと思いますので、その辺りこれから皆さんにお渡しする前にはなるべく整理をして成果物としていただきたいと思います。

【関谷会長】

ありがとうございます。皆さんの目に触れるものです。より分かりやすくしていくということはすごく重要なことだと私どもも感じます。その他、ご意見ございますでしょうか。

ぜひ、感想も含めてでも構いませんので、何かいただければという風に思いますが、いかがでしょうか。

布目委員をお願いします。

【布目委員】

少子化の話ですが。実はこの会議の始まる前に人口動態を見たら、世帯数は増えていますが、肝心の人口が減っていて、広報を見ても毎回減っていきます。それですね、こういった施策を今後実施していくと思いますけど、出生率が非常に低いわけです。もう少しお母さん方が出産しやすい、例えば私の次女が、市役所の横にありました保健センターで実はお世話になってます。あそこで生まれたんですね。父親は、あそこは入らしてもらえないものですから。ちょっと過ぎてからやっと対面したんですけど。保健師さんとかが色々お見えになって、非常に良かったと本人は今でも言っています。ということで、あのような施設を市で再度予算があればですが、考慮されてもいいんじゃないかと思います。むしろベビーが増えなければ何ともなりませんので。そこら辺はどういう風にお考えでしょうか。

【関谷会長】

ありがとうございます。また大きな課題ですし、財源のことにも触れていくことになるかと思いますが。事務局、お答えできるようなことございますでしょうか。

【事務局】

申し訳ございません。私どもはこどもの分野ということで、母子保健の分野について即答はできません。健康推進課と交えまして色々お話をした上で改めて個別になってしまうかもしれませんが、回答させていただきます。

【関谷会長】

ありがとうございます。少子化対策も非常に重要な課題の1つだと思いますし、これから犬山市そのものがこれからさらに活気ある状態にしていくためにも、年少人口の増加というのは非常に大事なところだと思います。そのためにも、ここの施策の中に子育てをしている当事者の皆様への支援というところもちょっと柱になってるわけです。

いかがでしょうか。実際に子育てされている委員の皆様もいらっしゃると思いますが。何かご感想も含めてございますか。

特になければありませんでも構いませんが、浅岡委員。いかがでしょう。

【浅岡委員】

父親は仕事がメインなのかなという感じで想定してやってきましたが、PTAの会長をやってみて、母親はとても大変だということを思い知らされました。妻の負担にならないようになるべく協力しながらやっております。父親はやはり仕事しなのかなと。昭和の人間ですので。父親の背中を見て子どもは育つのではと思っていますので、あまり意見としてはどうかと。すいません。

【会長】

ありがとうございます。学校教育とかそういったところで、男性女性問わず活躍していただくこともあるかと思いますので、よろしくお願いします。

では、森委員いかがでしょうか。

【森委員】

私は結婚してから犬山に引っ越してきて17年ぐらいですけど、犬山の保育園12、3年間通ったと思いますが、すごい入れやすいというか、断られたことがなくて、犬山は子育てしやすいところだなと思っていますけれど、病院が少ない。幼児の保育というのは病気がつきものです。もう幼児がいないので、そこまで不便さを感じていませんが、やはり病院、小児科も減ったり、皮膚科は小牧に行っている人が多くて、そういうところが、母親としては1つ犬山を選びにくいというのはあるかなとは思っています。保育環境とか、子どもの入れやすさはそこまで苦になったことはなく、これからこどもを増やしていくにあたって大事ではないかと思っています。

【関谷会長】

ありがとうございます。子ども、子育てをしていく上での生活環境の、ハードもソフトも含めてですけれども、おそらく病院はすごく重要で生活していく上でのキーワードになるかもしれません。また事務局の方でも色々な検討をいただければと思います。

順番に行ってもよろしいでしょうか。お願いします。

【長谷川委員】

子育てサークルの長谷川です。私はボランティアで活動していますが、児童センターとか、夏休みのイベントとかも結構お子さんが参加してくださいました。特に夏休みは犬山すごく長くて、今年は特に暑くて自分のこどもずっと家にいて、もう外でも遊べないと言ってずっと夏休みの宿題以外はYouTubeやテレビを見て家で過ごすことがすごく多くて。この屋内型キッズスペースの整備は、早急に進めていただけるとすごく嬉しいなと思います。外で遊べないとどこで遊ぶんだろうとなると、児童センターとか大型施設まで行かないと、なかなか遊ぶ機会がありません。

近くですと、例えばエナジーサポートとかの体育館を、夏休みだけ、ちいさな子からの小学校、中学校みんな遊べるような何かイベントみたいなものか、お昼もそこで食べて1日過ごせるぐらいの、何かこう遊べるスペースみたいなものも充実してくださると嬉しいなと思います。

これからこれ以上涼しくなることはないでしょうし、夏はこども達は遊びたいけど遊べないっていうのがあると思いますので、そういうこども達が夏でも身体を動かして遊べるようなスペースをどんどん充実していただけると、親としてもすごく助かりますし、子どもにとってもすごくいいのではないかと。

【関谷会長】

ありがとうございました。続いてよろしいでしょうか。暮石委員お願いします。

【暮石委員】

今子どもが保育園に通っていますが、特に何か困ってることもなく、すごく子育てがしやすい環境にあるので、とてもありがたく思ってます。

私、子どもは1人ですが、例えば2人目ができたりとか、出産となった時に1人目の子が保育園を退園させられてしまっている現状とかもあるみたいですので、そういう預け先があったりすると、第2子、第3子を 考えやすくなったりするのかなと思います。あとは、小牧市ですと未満児の無償化とかも結構話題になっていますが、犬山市もそういう金銭面でも支援があると仕事に復帰しやすくなるのかなと思います。

【関谷会長】

ありがとうございました。では続いて猪野委員お願いします。

【猪野委員】

私は犬山生まれ、犬山育ち。もうずっと犬山に住んでいて、今犬山で子育てしていますが、おっしゃられたようにそんなに困ってることもなく、満足しています。ただ、母親は色々な年齢層の方がいらっしゃって、ここで満足する方もいれば、ここを求めている方もいらっしゃるので、どこのラインに合わせるかというのは難しいとは思いますが。先ほど長谷川さんがおっしゃった通り、周りの意見は遊ぶ場所が犬山は少ないとおっしゃる方が多くて、公園も犬山緑地は遊具がないので扶桑緑地に行こうとなる。小牧は本当に施設が充実していて、室内の遊び場もあるけど犬山にはないから小牧まで行こうって市外に出たりしてる方も結構いらっしゃいます。屋内施設ができるということで結構楽しみにしている方が多いですので、こういう遊べる場所をどんどん作っていただけると、みんな喜ぶのではないかと思います。

【関谷会長】

ありがとうございました。では、中西委員、お願いします。

【中西委員】

私自身が働いていた時は岐阜に住んでいて、出産をするにあたって犬山に戻ってきたのですが、出産することになった時に、病院はどこにあるんだろう。婦人科はあるけど、産科のあるところが少ないというのを感じました。地元は犬山ですので母に相談しながら、ここの先生が前からやっている先生だよとか、ここの病院はこういう風に立ち上げた先生だよと話を聞きながら病院を探したんですが、子どもを育てていく上で、今度は小児科はどこがいいんだろうとか、自分の探し方が下手なのか、広報の見方も読み方が悪いのか、自分が欲しい情報を得ることが難しくて、子どもが成長できて他のお母さんたちから聞いていても、じゃあどこ遊びに行かせに行くと言っても、お母さんたちからはここがあったよ、こういうところは水回りが綺麗だから良かったよって話を聞いていくところは市外のところが多くて。病院も市外に行くことも多いし、なんか岐阜にいた時は産科もちょっと調べれば5、6件ネットでも出てきましたし、遊びに行く場所も色々出てきましたが、犬山市内で探そうとなるとなかなか探すことが難しくて、もう少し情報の発信方法ですかね、うまく探せられるようになるといいのではというのを、こちらに来て感じたことです。

【関谷会長】

ありがとうございました。少し時間がまだありますので、できればこちら側も今日一言ご発言いただいて、帰っていただけたらと思います。それぞれのお立場でこれらでと思っていますので、何か施策の中のこと、発言しそびれたというようなことでも構いませんので、何かご意見いただければと思います。

【新井委員】

先ほどお話聞いてこどもはもう今大学生なんですが、こどもが小さい時に今はない小児科で、24時間対応してくださってる先生がいらっしゃったんですけど、その先生がいらっしゃった時は、幼稚園から隣の保育園の子とか大体そこの小児科に行ってましたが、その病院が今もうなくなってしまい、今のお母さんたちが病院がないというのを聞く機会もありまして。夜、行きつけのところに行きたくても行けないので、#8000に電話をして行ったことのない病院に行って対応してもらい、翌朝になってから行かなきゃいけない。説明も2度しなければいけないし、既往歴を説明するのも大変で、やはり不自由というのはよく聞きます。うちもかかりつけ医がなくなってしまいましたので、市外の病院に通っています。

病院がないと安心して子育てできないというのはどなたも、今もずっとそういうのは気になるところ。何かあった時に対応できる場所ができるといいのではというのは、お話を聞きながら。今のお母さんは私の時よりもより困っているのではと感じます。

【関谷会長】

ありがとうございました。先ほど澤田委員、手を挙げていただきましたが。

【澤田委員】

日頃は子ども未来課に大変お世話になってます。本当にありがとうございます。私は、第1回の会議はちょっと所用で欠席をしてしまいました。初めて今日参加をさせていただいております。資料をたくさんいただきまして、全て読み込んでいる訳ではないですが、4つほど感想、意見がございます。

子どもそれから子育てはまず大前提としてお金が必要なんだということだと思えます。現在、国の政治の話になってしまいますが、衆議院選で国民民主党の玉木代表が103万円の壁ということで非常にインパクトのある公約で178万円にするという。こんな公約で議席を伸ばしたということでもあります。片や7兆から8兆の減税が生じてくるということで、行政サービスが非常に低下してしまうのではないかと私は心配をしています。自民党、公明党がこれにあゆみ寄ってどの辺の数字までになるのかなと注視するところですが、ただ単に耳障りのいいことだけを思ってそのように考えてしまうと、私たちがせっかくこの未来を担っていくこどもたちのこうした子育てに関する行政サービスが低下してしまうということもありますので、そこら辺のところはしっかりと、市議会議員がお見えでありますので、また市の方にも声を届けていただきたいなということが1点目です。

2点目であります。犬山市の人口がどんどん減っているということで、どうしたらいいのかと個人的に思うことですが、端的に言うと私は企業誘致が1番いいのではないかといつも思っています。犬山市は非常田畑が多く、調整区域とかで色々難しい。原市長や山田市長の時代から色々商業施設を誘致しようということでもあります。そういった非常に大きな壁に阻まれて断念をするというようなことも聞いています。法的なこと分かりませんが、企業誘致することによってそこに働く場所が増える。そうすると若い世代の方もやってる。そうすると、商業施設も増えたりして、それでこうした税収も増えてくる。人口もまた復活してくるのではないのかなと思います。そこら辺のところは、市議会議員さん2人お見えになりますので、議会でもよく議論をしていただきたいなと思います。

それから3点目ですが、今回の資料の中にあっただけなかったのか分かりませんが、不登校の子どもたちが非常に増えてきたということでもあります。校長先生がいらっしゃいますのでそこらへんのところの数字はあるかと思いますが、コロナを境に増えたということをおっしゃっております。じゃあ、何が原因だったのかということを検証して、そしてこどもたちの家庭に対する、あるいは学校教育に対するその仕方というものを検証していくということも必要だと思います。もし可能であれば今後の内容入れていただいて、そういったことを含めて、この問題についても少し議論を重ね、やっていただければいいのではないかと思います。

4つ目、最後です。実は、発達障害のことについてです。私は幼稚園をやっております。昔と比べて非常に病気の名前がいっぱいつくことになりました。発達障害に対するこどもたちに対する対応というのは、まだ幼稚園、保育園はまだいいとは思いますが、もう小学校に行けば先生たち大変ではないかとそんな想像をしたりします。担任の先生が非常に苦労しておられるのが現状ではないのかなと思います。そこら辺にこうしたお金を使って、そういった方々の増強が必要ではないのか。それから発達障害に関

することで誤解を恐れず申し上げるのですが、保護者に対する対応ということであり
ます。

うちの子に限ってそんなことはないというように言われる保護者さんが非常に多い
と言われております。そこら辺の対応、若い担任の先生でありますと、なかなか保護者
に対する対応が難しいことがありますので、その間に専門のカウンセラーとかそう
いった方々を置いていただき、保護者さんに対する連絡の調整、色々なコミュニケーション
を図っていただくための人員配置も大事ではないかと思っております。

まとまりのない発言になってしまいましたけれども、お答えいただける範囲で結構
でありますがいかがでしょうか。

【関谷会長】

ありがとうございました。事務局でお答えいただけそうなものとかもあるのではな
いかと。2つ目の企業誘致は子育て支援課では中々回答しにくいかと思います。

不登校に対しては今回の資料の41ページですとか保育の質の部分とか、そういった
ものについての項目としてはあるわけなんですけど、何か既に事業として行われている
こと等この場でご回答できることがありましたらお願いします。

【事務局】

まず不登校についてですが、担当課としましては子育て支援課ではなく学校教育課
のとなりますので、そちらの方も協議しまして、内容に盛り込めるものなのかどうかに
つきましては協議させていただきたいと思えます。

逆に確認ですが、発達障害につきましては、これも教育の方でのお話なんでしょうか。
それとも保育とか幼稚園とかいずれもでしょうか。

【澤田委員】

今回の議論は子育てですね。その子ども子育てというような大きな題材だと思いま
すので、少し発言させていただいたのですが。

【事務局】

今、発達障害のことについてお話をいただきましたので、少し現状等お答えさせてい
ただきます。今先生がおっしゃいましたように、本当に発達障害のお子さんが増えてい
るというのは実感しております。犬山市では、子ども未来センターに臨床心理士の方
が、常駐ではないですが、月に2回来ておりますので、その臨床心理士が発達相談の方
で各園回らせていただいております。これは、公立私立問わず、保護者からの相談、も
ちろん園からの相談もありますし、保育士さん、教員の先生が困ってらっしゃるって
いうことに対しても、心理士の相談は受けておりますので、そのような場を活用してい
ただければいいのではと思います。以上です。

【関谷会長】

ありがとうございました。それでは、ぜひご発言いただきたいので、永濱委員お願いします。

【永濱委員】

はい、失礼します。今お話がありましたが、スクールカウンセラーは学校でも本当に有効に活用できています。ただ、1校に1人とかいるわけではありませんので、子育てに悩みを抱えた保護者様が学校の先生ではなく、スクールカウンセラーという別の立場のところで相談できる機関があることは大変ありがたいと思っています。本当にもう少し時間的にも人的にも充実したらありがたいと私も思ってたところです。これは小学校、中学校共にだと思います。

それから、また別件なんですけど、今、中学校での部活動が地域移行するということで今動き出しています。ちょうどこれ5か年計画ということなので、この計画の途中で変わっていく。今とは全然変わっていくという形になるかと思いますが、ちょっと前までは、教員が平日の業後もそれから土曜日、日曜日、試合に出たりとか学校で練習したりというのも学校の教員が部活動を担当して、保護者も多分、家を普通に学校に送り出すのと同じように部活行きますという感じだったと思いますが、今それを地域移行しようということで、まずは土日から始めていこうということで、最近始まっています。つまりは、こどもたちが地域の中で、そういった活動をしていく形を整えていかなければいけないということで、場所もそれから指導者も、教員という学校の先生ではなく、その地域のクラブの指導者として登録していただいた方で面倒見ていくような形になると思います。それから、家庭も学校に登校させるのとは違いますので、土日はやはり家族の協力もなければこどもたちも活動にも参加できないと思います。今まで子どもたちが授業以外にプラス部活動っていう風にやってた部分が、学校の中から学校の外へ出ていくというような変化がありますので、いろんな形で大人がこどもの活動を支えていく。そして、こどもたちが中学生の時に経験したことで、その先生涯にわたって何かいいきっかけになる活動ができればなということだと思います。そういう体制を整えていくということも意識を向けていけるといいと思います。

私も以前中学校に勤務していましたので、平日は部活をやり、部活が終わったら希望者で陸上練習や駅伝練習をやり、6時半とか7時とかぐらいまでやって、土曜日でも日曜日でも部活やってというのが、それがもう本当に当たり前の感じになってたと思いますし、今の大人はそういうのを自分も経験してきたと思うんですが、形が変わる、社会がこう変わっていったら、こどもたちの受け皿の環境が変わっていくところに、みんなで対応していくことが必要ではと思います。以上です。

【関谷会長】

ありがとうございました。榊原委員いかがでしょうか。

【榊原委員】

医師会から参りました。榊原と言います。先ほど小児科が少ないという風なご意見をいただいて非常に耳が痛かったんです。小児科医は増えてはきていますが、なかなか地域で密着した小児科医が犬山特に少なくなってきたというのは感じております。ただ、精一杯やっているところで、まだまだ私の力不足な点があると思いますけど、頑張っていきたいと思っております。

今回のこの資料、非常にたくさんあったものですから、まとめてお話ししようということとはちょっと難しいですが、全体として断定的にちょっとずつお話しすると、非常にたくさんの事業と支援策がたくさんあります。それは本当にありがたいことですし、これからも継続していかなければいけないことばかりだと思いますが、その1つ1つが必要な人に繋がってるかどうかということをもまず1つ考えて、いろんなところから情報を発信していつていただきたいと。いわゆる子育て支援課だけではなく学校教育課、当然子ども未来課、色々なところで相談窓口がある訳ですけども、そこからまた横の繋がりで情報共有して、色々な方に支援策があるということをもまず繋げていただきたいなと思いました。担当されてる 職員の方は非常に苦労されてるのは分かってはいますが、1つ1つが非常に有意義な施策であるのに使われていないところがあるのではないかなと思っております。

そしてもう1つは、実際にそういう対象の方の意見、こういう場で意見を言うてくださるもの大事なんですけども、子どもがまんなかですから、子どもの意見を聞くということも大事。幼稚園児にというのは非常に難しいかもしれませんが、幼稚園児に関しては、保護者の方の意見をまとめていただく。こういう支援があるということをも園で保護者同士色々な話をされてると思います。こういうことがあったらいいとか、 こういう支援があったらいいかと。そういうことをこういう場に出していただけるともっといいだろうと。それから、小学校、中学になれば自分の意見がもう言えてくるお子さんが多いと思います。

児童クラブでも、こういう児童クラブの内容。ただ場所だけあればいいという問題ではなく、何がしたいのか。どういう児童クラブが理想なのか。本当に喜んで行っているのか。そういうところも含めて見ていただけたらと。そして、子どもたちが楽しく過ごせる場所。先ほど遊べる場所と言いましたが、単なる場所だけではなく安心して安全で遊べる場所。そして楽しく遊べる場所。何か制限されて遊んでも仕方ありませんので。そういうようなところもこどもの目線で考えていただけたらなと思っております。大雑把な、具体的ではありませんけども、もう少しこどもの目線、保護者の目線っていうのを大事にして、制度を周知して利用促進につなげていただけたらとは思っております。

最後に発達障害に関しては、これは非常に多くなってるとは言いますが、病名が多く子が多くなってるわけではなく、症状はそれらしい子が増えてきているということで、全て病名がついているわけではありません。ちょっと性格が落ち着きがないっていうだけでも、どうしても周りは発達障害ではないかという目で見えてしまいがちですが、そういう目で見るとはなくて、その子に合った対応を。これは教員の方、保育士の方もその部分は分かっていると思うんですけども、そこを間違えると、

小学校に入ってからトラブルになる。みんなと同じことを小学校に入ればしなくては いけなくなりますので、幼稚園の時代、保育園の時代でそういうようなものを理解して対応を考えてあげる。そのために、今話題になってる5歳児健診が始まってきます。5歳児健診で病名を、病気の方を見つけるのではなく、困ってるお子さんを見つけて対応することが目的になります。そういう面で早くその子の特性を見つけてあげて、生活、これから社会に出ていく上で大事な力をつけていただくために指導していけたらと思っております。つまり、発達障がいが増えてる、病名がついた子が増えてるようなこと考えがちですが、そうではなく病名がつかない子の方が圧倒的に多いのではないかなとは思っております。病名がつく、つかないはあまり関係なく、それぞれお子さんみんな性格が違いますので、おとなしい子もいればやんちゃな子もいますので、そういうところを押さえつけるのではなく、その子に合った指導を見つけていくことが大事ではないかと思っております。特に何をしたらいいかということよりも、私の個人的な意見です。

【関谷会長】

ありがとうございました。あと10分ちょっとですが、ぜひお声は聞きたいと思いますので、皆さんもうもうしばらくお時間いただければと思います。

木村委員をお願いします。

【木村委員】

榊原先生が医師の思いというかももう本当にすべて言っていて、やはりこどもの施策ということで、こどもの意見というの、こどもは意外と小さなことにとっても感動したり、能力を発揮できたり、発揮していない子たちも、誰かの一言で輝けるということです。先生おっしゃったように、こどもの意見も聞いてどこかで集約して施策に反映させていただければありがたいと思いますし、障がいのある子たちの施設というか事業所でも、こども会議というのをやっています。障がいがあると言われながらも、それぞれの意見をきちんと行って、あの時僕はこういう気持ちだったみたいなところで、こども同士での話し合いをしています。もし機会ありましたら、皆様どうぞ見ていただいて、こんな意見が言えるみたいな、そこまでちょっと育てていくということも大事なことだと思います。

幼児でも小さいこども、多分0歳でも自分の感情、自分の意思を持っていますので、お母さん、お父さんたちが疲弊しないように周りがちょっとだけ声をかけるとか、そういった環境を整えていくことはできます。知り合いの人の一言で、幸せになれることは絶対にあると思いますので、皆さんで頑張って子育てしていきたいと思っています。

【関谷会長】

ありがとうございました。沼委員をお願いします。

【沼委員】

市議会議員 沼と申します。私も犬山で育ち、今も犬山で子育てをしています。皆さんのお話を聞いていて、今やはりスマートフォンがある時代ですので、お母さんたち勝手に調べて、勝手に解決して、勝手に納得していくところもございます。なので、こう、外にどんな問題を提示していいのか、これは相談していいのか、これはどこに行ったらいいのかというのが全部この中で完結しているところが多々ありますが、小さなコミュニティで、こういうことがあるんだけど、あそこはね、こういう風にしたらいいよとか、先輩のママだったり、私だったら未来園の先生であったり、そういう先生方に本当に多く助けられました。

話は変わりますが、今回、ヤングケアラーの調査の話が新規で 書面に登場したんですが、先日、ヤングケアラーの先生、日本福祉大学の先生の話聞きに行っていました。そこですごくハッと思ったことがいくつかありましたので、ここで紹介していいですか。

ケアラーの最初はお手伝いなどを覚えるというところでした。私も 思い起こしてみれば、祖母のお家は自営業でしたので、祖母のサポートはやっていました。これはもしかしたらというところもありますが、そういったところが声を上げるものなのか、果たしてこれは家族としての役割なのかっていうのは、今でも思いおこすと迷うところではあります。ただ、それがやはり社会の中で顕在化していくことは、心から関心を持ってくれる大人が何人もいるということが大事だということを、福祉大学の先生はおっしゃっていました。助けてと言える環境がいくつもあることが大事だよということがすごく心に残りました。町内会とか子ども会とかありますが、孤立とか孤独はどんどん促進されていってると。そういうところも確かにそうだなということを痛感いたしました。そして、少子高齢化が招くものとして、今後それが続くと単身高齢化がやってくると。それこそもっともって社会が支えていかなきゃいけない基盤が必要だということも、先生の話から分かりました。1つケアラーの話を取っても数珠つなぎに問題が顕在化していくものだと思います。

今、色々と皆さんの話を聞いていて、こういうことはどうですかと事務局にお話しても、これは確認しますということがあるのであれば、今回例えば若者の就労であったり学校関係であったり、そういうことがあるのであれば、その関係者の方1人ずつでもこの場に来ていただきたかったかなと。多岐にわたる内容ですので子育て関係の方だけではなくて、色々な担当課の方がお1人ずつでも来られなかったのかなというのが残念に思うところではあります。

1つ、最初の事前質疑のところで質問内容ですが、よろしいでしょうか。

72 ページの新規事業のところで、楽田児童センター2階では現在外国籍の方の生活支援を行っておられますが、これが新規でおこなわれますと記載がありますが、これはどのような新規事業になるのかというところをお知らせいただきたいと思います。よろしくお願いします。

【関谷会長】

お願いします。72 ページの具体的な取り組み④ですね。よろしくお願いします。

【事務局】

はい。子どもの生活、学習支援でよろしいですかね。今実施している事業は日本財団の助成を受けまして生活支援、生活習慣づくりであったりとか学習支援、その他にも、食事の提供であったりとか体験学習みたいな形ですね、そういったことをされてるということです。我々が今考えてるのは、その全てではなく、いわゆるこどもの貧困対策で、生活習慣であったりとか、学習支援、その分野に特化したもので事業を進めていければと考えておりまして、今やってる全てのことを市が引き継いでやる、そういった考えではなく、部分的なところですかね、特化したところを事業としてやれればと考えているところです。

【関谷会長】

ありがとうございます。長時間が経ってしまいましたけれども、皆様からご意見をいただきました。おそらく実効性を高めるための提示の方法ですとか、見通しを持つての他課との連携等、色々なことが課題に上がったかと思います。これからもう一度、まだ記載がされていない部分等も含めて、この計画案作成をしていくことになりますので、また皆様に、先ほどもスケジュールのところでまた見ていただく機会がございますので、その時にもまたぜひお時間を取っていただきまして、よろしくお願いします。

議題1、少し時間超えてしまいましたこれで終わりたいと思います。

では続きまして、ご報告事項になります。事務局お願いします。

【資料に基づき、事務局説明】

【関谷会長】

ありがとうございます。何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。

沼委員、お願いします。

【沼委員】

はい、ありがとうございます。先日11月の3日ぐらいですね、私も保育園の近くを通ると、来年度の書類を持ったお母さんたちを見かけてもうそろそろ始まっていくんだなという期待感を覚えました。

そこで、工事の進捗状況について少し心配事がありますので、お伺いしたいと思います。工期とか内部の管理少し不安な面があると聞いております。業者さんからのお話でございます。その辺が詳しく分かれば進捗状況8割進みましたとありますが。分かる範囲でお知らせいただければと思いますが、いかがでしょうか。。

【事務局】

監督職員、いわゆる工事の管理監督をするのは私ども犬山市でございます。その管理者と事業者と毎週現地で打ち合わせをさせていただいております。計画も進捗率等も含めて確認をしております、その中でも8割程度終わっているということで先ほど申し上げたことに変わりはありません。今、現場の方というお話をいただきましたが、私ども市といたしましては事業者との調整の中では計画通り進んでいると認識しております。以上です。

【沼委員】

はい、ありがとうございます。南小学校のことだったり、そういう工事が繋がったこともあったので、色々心配事がある場合で質問させていただきました。管理監督が市で行われているということですが、業者さんからの話をよく聞いて、本当に差し迫ったことでございます。2月の竣工というところもちょっと不安な面が、地域の方からも声が出てるので、またそのところを調査をしながら、進捗状況確認よろしくお願ひしたいと思います。ありがとうございます。

【事務局】

ありがとうございました。

【関谷会長】

ありがとうございました。その他、ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

では、続きまして、最後になります。報告事項の2つ目、屋内型キッズスペース整備の進捗について事務局お願いします。

【資料なく口頭にて、事務局説明】

【関谷会長】

ありがとうございます。何かご質問等ございますでしょうか。

【新井委員】

屋内型キッズスペースをこれから作るというところですので、保護者側というかお願ひがあります。中でお弁当とかが食べられるスペースを作っていただきたい。

今色々なとこで遊び場がありますが、児童館だと食べられないので、お弁当を持ってきた外に出て暑い炎天下のお弁当を食べてからまた施設に戻るということをしてるお子さんがいらっしゃいます。お弁当持ち込めないから外に置いておくと傷んでしまう。保冷剤いっぱい入れてるよってお母さんとかから聞いていますが、さすがに外で食べてまた中に戻るというのはお弁当を持ってきたので仕方がないという感じではあると思いますが、せめて屋内キッズスペースですので、こどもたちがお弁当を持ってきた食べられるまたは、お母さんたちと一緒に来てお弁当食べて、また午後からも遊べるスペースというののちょっと入れていただきたいという母の希望です。

【関谷会長】

ありがとうございます。何かご回答いただければ。

【事務局】

一応検討はしております。前向きに検討しておりますので、そういう形になるかと思っています。

【関谷会長】

ありがとうございました。その他ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

時間もだいぶ押してまいりまして申し訳ございません。最後その他事項として、事務局、よろしくお願いします。

【事務局】

最後になりますけれども、あらかじめ皆さんに計画に関わらず、その他の日頃から思ってもらっしゃることあればご意見をいただきたいということで提出いただいたものが3点ありますので、ご紹介をさせていただきたいと思います。

まず1点目ですけれども、普段子どもたちが遊ぶ公園の整備、劣化した遊具の見直しについてということでご意見をいただいております。こちらについてはですね、私の方で担当となる土木管理課に確認をさせていただきました。土木管理課からの回答となってしまうのですが、年に6回の定期点検、こちらをおこなっておりその中で

修繕が必要ないいわゆる緊急度の高いもの、そういったランク付けをおこなって修繕をしておりますとのことです。もし、お近くの公園であるとか遊具について修繕がなかなか進まないなということでありましたら大変申し訳ないですが順番に整備を行っておりますので、その点はお待ちいただきたいとのことです。ご紹介とさせていただきます。

2点目。こどもの声がうるさいと苦情を入れる大人がいる。子育て世代だけでなく社会全体に対して理解を求めることが必要ではないかということで投げかけをいただいております。こちらにつきましても、説明を変わらせていただきたいと思います。

こどもの声が騒がしいということですが、私どもとしましては特定地域の問題ではなく社会的な問題であると考えております。夜勤の方であったりとか、仕事辞められて日中家に居らっしゃる方、そういった方も事情は分かりますが、例えば施設を新たに作る場合には説明会等、色々な機会を通じてこどもの未来のためにということで

ご理解を求めていく、そういったことに努めていきたいと考えております。

続きまして、3点目になります。未満児の無償化の検討をお願いしたいということでした。こちらにつきましても説明を変わらせていただきたいと思います。

未満児の保育料の無償化についてでございます。現在、現状では3歳以上につきましては、年少、年中、年長につきましては、令和元年10月からの制度によりまして、保育園、幼稚園、どこに所属していても全てのこどもの保育料や授業料は無料となります。ただし、3歳未満児につきましては、犬山市では保育料のお支払いをお願いしているところです。

例えば、隣の小牧市さんや他市町村では、市町村独自の施策として3歳未満児を無償とされているところは多くあるのは認識しております。その目的は、子育て世帯への経済的負担軽減になると考えられます。現在、犬山市では3歳未満児の保育料を無償としているのは、国の制度による市町村民税非課税世帯、それから市独自の施策です。前段でもご紹介させていただきました、多子多胎児世帯に対する子育て支援施策の1つとして、3人目以降のお子様の保育料、仮にこの1番目、2番目が大学生であろうと結婚されているご兄弟であろうと、その該当するお子さんが保育在園児で3人目である登録をされているお子様については保育料を無償としております。他市町では同じ園で在園してないと3人目は無料にならないとか、住民票は一緒でないと駄目だとかそういった要件ありますが、犬山市についてはそういった要件はなく3人目以降を無償としているところです。

少し話は逸れますが、当市の子育て施策といたしましては、小中学校の給食費の無償化を令和5年度から小学校6年生と中学校3年生の児童生徒を対象に実施しております。新たに令和6年度からは対象を拡大して、小学校1年生の給食費も無償にしているところでございます。保育料の無償化につきましても、子育て世代への経済的負担につながるものであることは十分認識はしております。一方で、無償にするということはですね、多額の費用が必要となります、市全体の財政状況の中で。そういったことを踏まえまして、市として何を選択していくべきか。子育て支援施策として何をしていくべきかということは、これは市全体で考えていかなければいけないことだとは考えております。

したがって、現状こういった状況ですということでのご紹介になりますが、ご理解いただききたいです。よろしく願いいたします。ご意見ありがとうございました。

【関谷会長】

ありがとうございました。議題等につきましては以上となります。

時間超過してしまい申し訳ございません。ただ、皆様からの意見が色々と聞けて、個人的には良かったなと思っております。どうもありがとうございました。ここで司会進行を事務局にお戻しいたします。

【事務局】

関谷会長、ありがとうございました。少々時間の方進んでしまいましたが、全ての議題を終えることができました。

以上を持ちまして、本日の会議を終了させていただきます。

皆様におかれましては、大変忙しい中、長時間にわたりご協力いただき、誠にありがとうございました。お帰りの際には交通事故等に十分気を付けてお帰りください。

本日はどうもありがとうございました。